

平成28年熊本地震から7年

災害歯科「受援対応座談会」
～ 熊本地震における南阿蘇地区での
歯科支援対応を振り返る ～

南阿蘇支援の概要

太田 秀人

南阿蘇地区外部歯科支援コーディネーター
(平成28年熊本地震当時)

主催：日本災害時公衆衛生歯科研究会
後援：(一社)熊本県歯科医師会
問合せ：jsdphd-admin@umin.org

「目的」 田上先生に質問して、何をしたいのか？



平時の地域包括ケアに活かす
＝「平時を見える化」

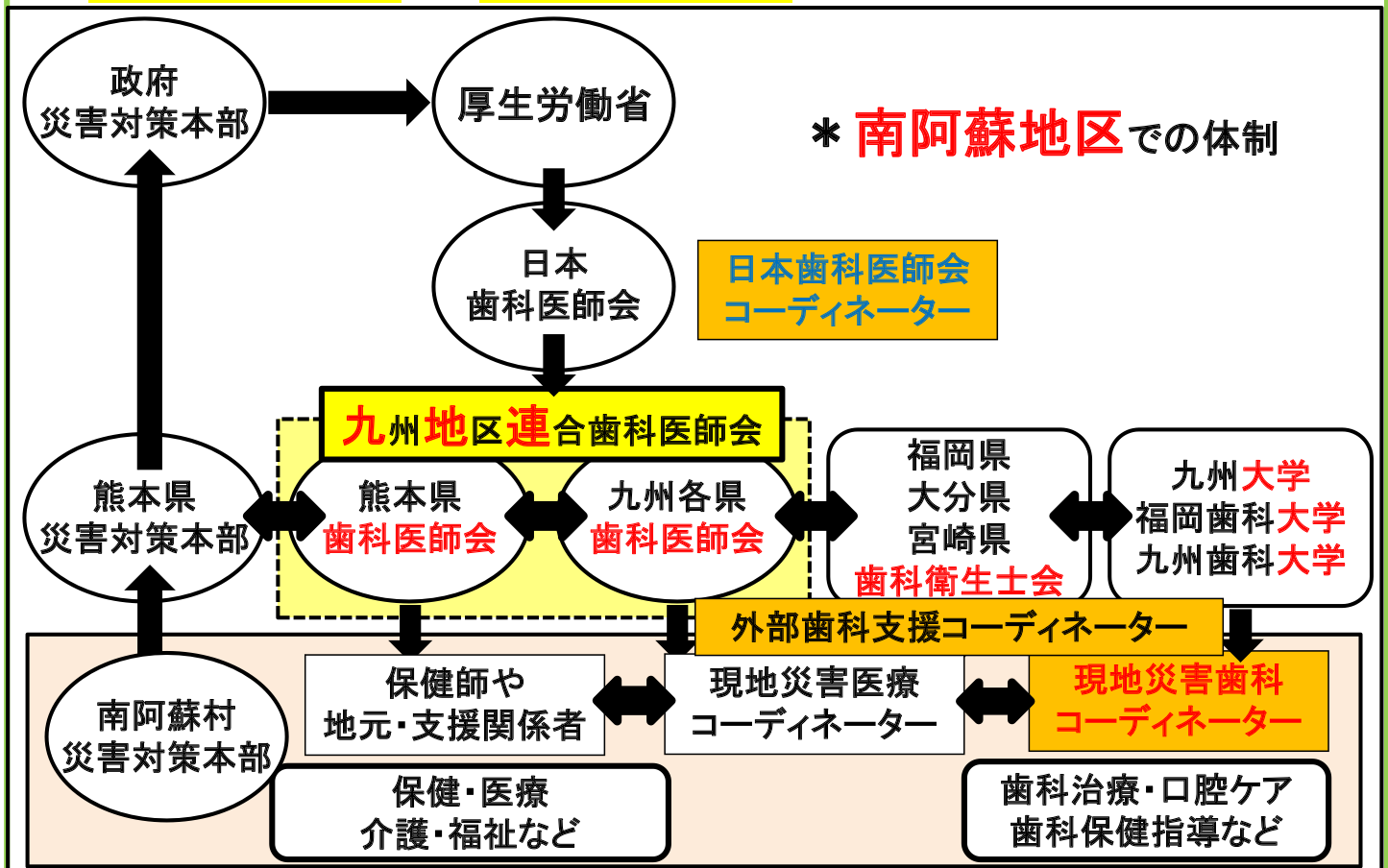


自分が被災した時に活かす
＝「受援を可能に」



災害時に活かす
＝「歯科受援のポイント」を探る

「迅速性」×「地域性」＝「阿蘇大橋崩落」



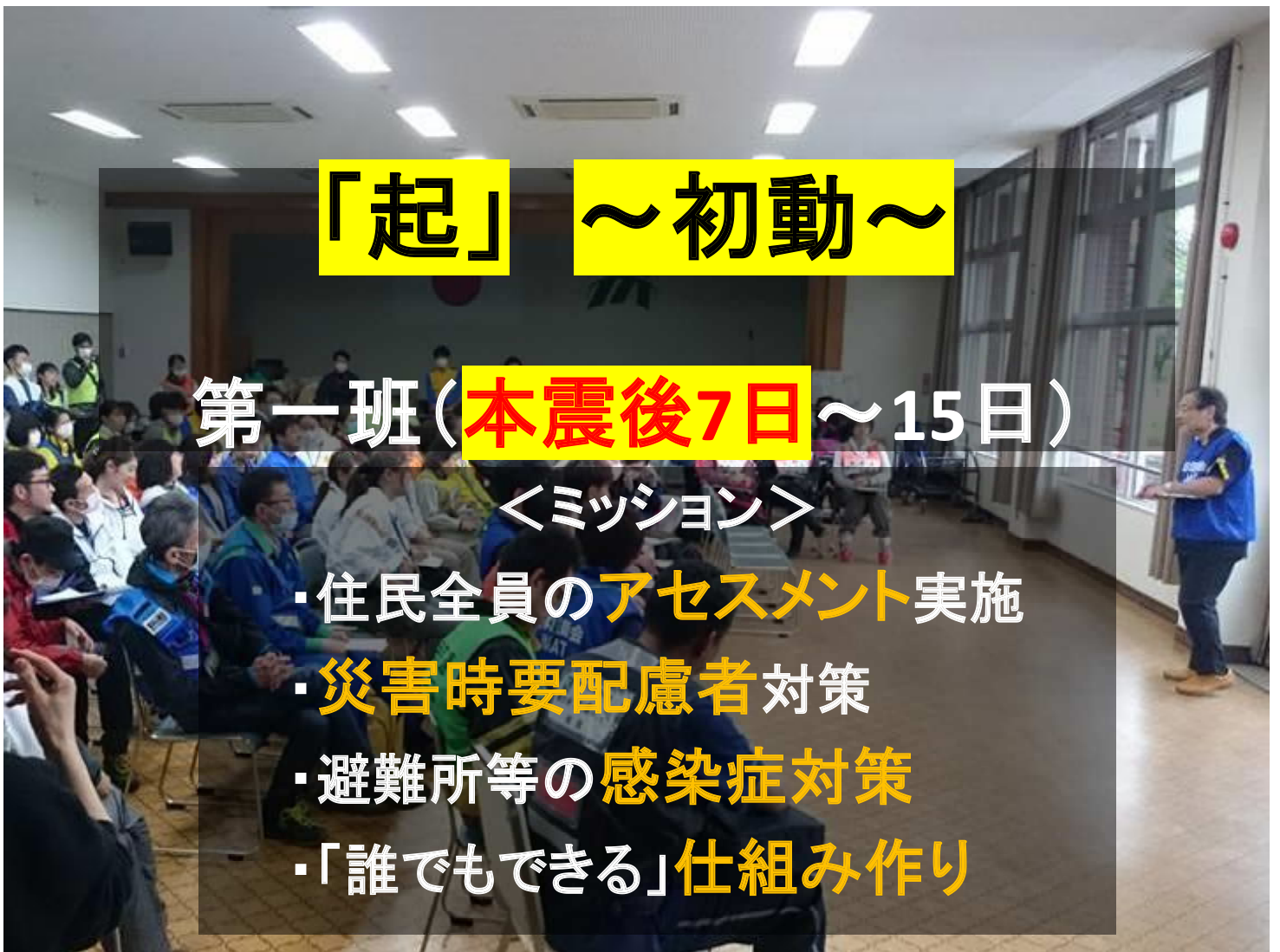
田上大輔. 南阿蘇村歯科支援活動報告“起”の章. 熊歯会報. 2016, 2016年7月号, no. 721, p. 6-8. より引用

「起」 ～初動～

第一班 (本震後7日～15日)

<ミッション>

- ・住民全員のアセスメント実施
- ・災害時要配慮者対策
- ・避難所等の感染症対策
- ・「誰でもできる」仕組み作り

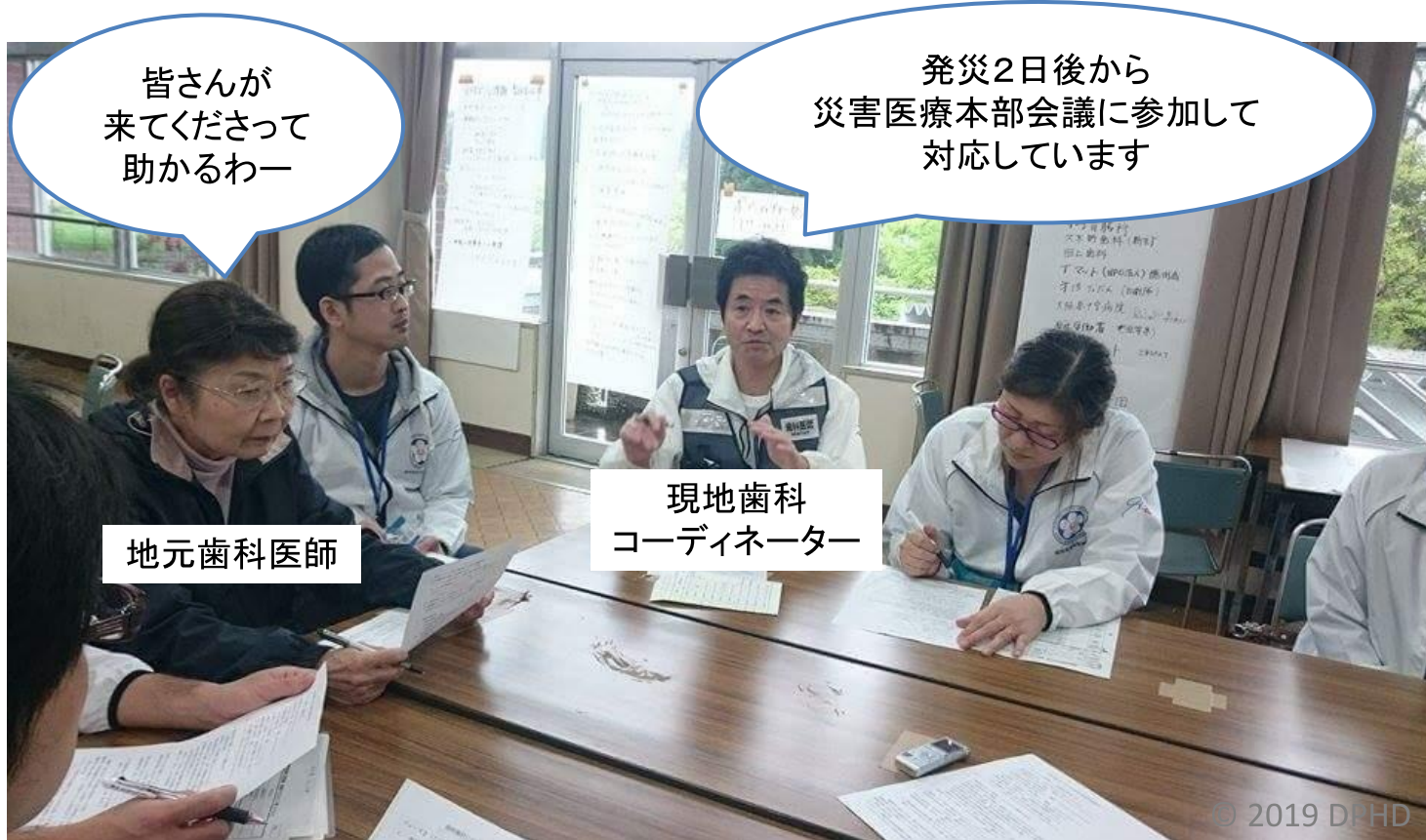


先行活動中の行政 歯科医師から情報提供 活動方針、計画などを引継ぐ



© 2019 DPHD

現地歯科コーディネーター
地元歯科医師会会員 → 支援チームへ引継ぎ



© 2019 DPHD

被災地区の**基本情報・被害状況**を把握する



立野 **長陽** **白水** **久木野**

＜発災前＞
人口約11600人
高齢化率約35%
主に4つの地区
「白水」「久木野」
「長陽」「立野」

＜4月23日現在＞
・避難所数 18
・避難者数 2300人
・**公民館 40**
・**介護施設 17**

＜歯科＞
村内:2件稼働(3件休診)
阿蘇市からの訪問診療不可能

*「避難行動要支援者名簿」は確認できず

施設における**集団・迅速アセスメント**



「集団・迅速アセスメント」で「迅速に評価」

- 1、**災害時要配慮者**の状況
- 2、口腔清掃等の**環境**
- 3、口腔清掃用具等の**確保**
- 4、口腔清掃**状況**
- 5、**歯や口の訴え・異常**
- 6、**歯科保健医療の確保**
- 7、その他

* 熊本地震当時は、旧様式で実施

項目	評価項目	評価内容
(1) 特に口唇等に に傷や炎症 、症状者	a 乳幼児 (乳児期)	(前 人or%)、不明
	b 妊婦	(前 人or%)、不明
	c 高齢者 (75歳以上)	(前 人or%)、不明
	d 障がい児者・要介護者	(前 40人or%)、不明
	e 難病等の有症者	(前 人or%)、不明
(2) 口腔清掃等 の環境	a 歯磨き用の水	1充足、2不足、3不明 (具休的に:)
	b 歯磨き等の場所	1充足、2不足、3不明 (具休的に:)
(3) 口腔清掃用具 等の確保	a-1 歯ブラシ (個人用)	1充足、2不足 (前 人分)、3不明
	a-2 歯ブラシ (乳幼児用)	1充足、2不足 (前 人分)、3不明
	b 歯磨き剤	1充足、2不足 (前 人分)、3不明
	c 口の拭き布	1充足、2不足 (前 人分)、3不明
	d 歯肉洗浄剤	1充足、2不足 (前 人分)、3不明
	e 歯磨きペースト	1充足、2不足 (前 人分)、3不明
f その他 ()	1充足、2不足 (前 人分)、3不明	
(4) 口腔清掃状況	a 歯磨き	1している (前 人)、2できない、3不明
	b 歯磨き剤	1している (前 人)、2できない、3不明
	c 乳幼児の介助	1している、2他人にしている、3不明
	d 難病・要介護・障がい児	1している、2他人にしている、3不明
(5) 歯や口の 訴え・異常	a 痛みがある者	1いる (前 人)、2確認できない
	b 食事等で不自由な者	1いる (前 9人)、2確認できない
	c 歯肉炎、歯茎や歯下の腫れ下等による	1いる (前 人)、2確認できない
(6) 歯科保健医療 の確保	a 歯科医師が担当の歯科診療所、歯科診療所・歯科診療所連携等	1あり、2ない、3不明
	b 歯科診療チームの確保	1-①あり、②あり、1-②あり (前 2人)、3不明
その他	具休的に: PEG 9名 輪っか 12名	

日本災害時公衆衛生歯科研究会:<http://jsdphd.umin.jp/workshop.html>より

避難所における**環境**アセスメント



「簡易総括表」で「全体を俯瞰」

* 熊本地震当時は、旧様式で作成

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 用 総括表(簡易版)										市町村名	作成年月日	
アセスメント実施年月日		2016年 4月27日 ~ 20 年 4月29日		作成者氏名 (所属名)		11 支部 (福島支部)		◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、-:不明			■	2016年 4月27日
No	避難所等の名称	避難者等の人数(人)	(1)ハイリスク者特に口腔衛生に配慮が必要な対象者(人、%)	(2)環境 口腔清掃等の環境	(3)用具 口腔清掃用具等の確保	(4)清掃行動 口腔清掃状況	(5)症状 歯や口の訴え・異常	(6)専門支援 歯科保健医療の確保	その他の問題	備考		
1		90	85	○	○	○	○	○	食中毒対応	歯用グッズの不足		
2		6	85	○	△	◎	○	○		義歯清掃器具の確保		
3		20	90	◎	△	△	○	○	pain 190	歯用グッズ(歯ブラシ)		
4		106		○	◎	○	○	○		食中毒の人数は11名		
5		77		◎	△	○	△	○	pain 190	食中毒の人数は11名		
6										上下の歯ブラシ(19名)		
7		75	100	△	△	○	◎	○		歯用グッズあり		

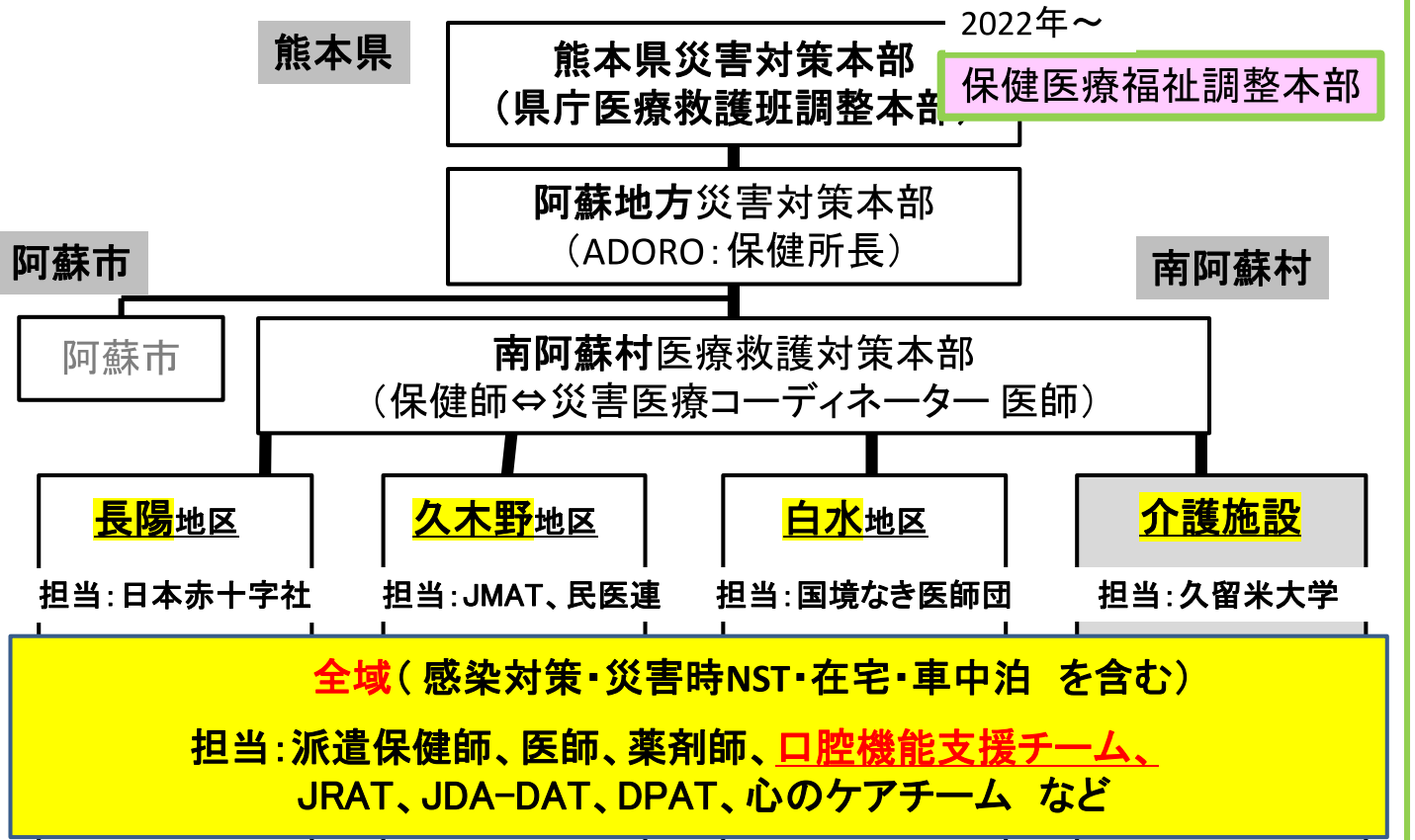
避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) 用 総括表(簡易版)										市町村名	作成年月日	
アセスメント実施年月日		2016年 4月27日 ~ 2016年 4月29日		作成者氏名 (所属名)		11 支部 (福島支部)		◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、-:不明			■	2016年 4月27日
No	避難所等の名称	避難者等の人数(人)	(1)ハイリスク者特に口腔衛生に配慮が必要な対象者(人、%)	(2)環境 口腔清掃等の環境	(3)用具 口腔清掃用具等の確保	(4)清掃行動 口腔清掃状況	(5)症状 歯や口の訴え・異常	(6)専門支援 歯科保健医療の確保	その他の問題	備考		
1		195		○	△	○	△	×		食中毒あり		
2		16	100	△	△	×	◎	○				
3		70	100	△	◎	×	◎	○		PEG 990		
4		76	100	△	○	○	○	○				
5		798	X									
6		61	X									
7		17	X									

全体会議に出席し、情報収集・共有



本日、歯科チームは
 応急治療〇名、
 口腔ケア〇名...

「多職種連携」＝地域包括ケアでの災害時版



田上大輔: 南阿蘇村歯科支援活動報告. 熊歯会報, 2016年5・6月号. No.720, P6-8 より改変

多職種支援チームとの情報共有



現地歯科
コーディネーター

地元自治体保健師

「承」～連携～

第二班（本震後15日～22日）

＜ミッション＞

- ・急性期から**慢性期**への活動実施
- ・多職種・地元との**連携**を強化

2016/05/03

避難所・施設で**多職種連携**して
個別アセスメント

お食事は
取れていますか？

血圧や体調は？
お薬は？

看護師

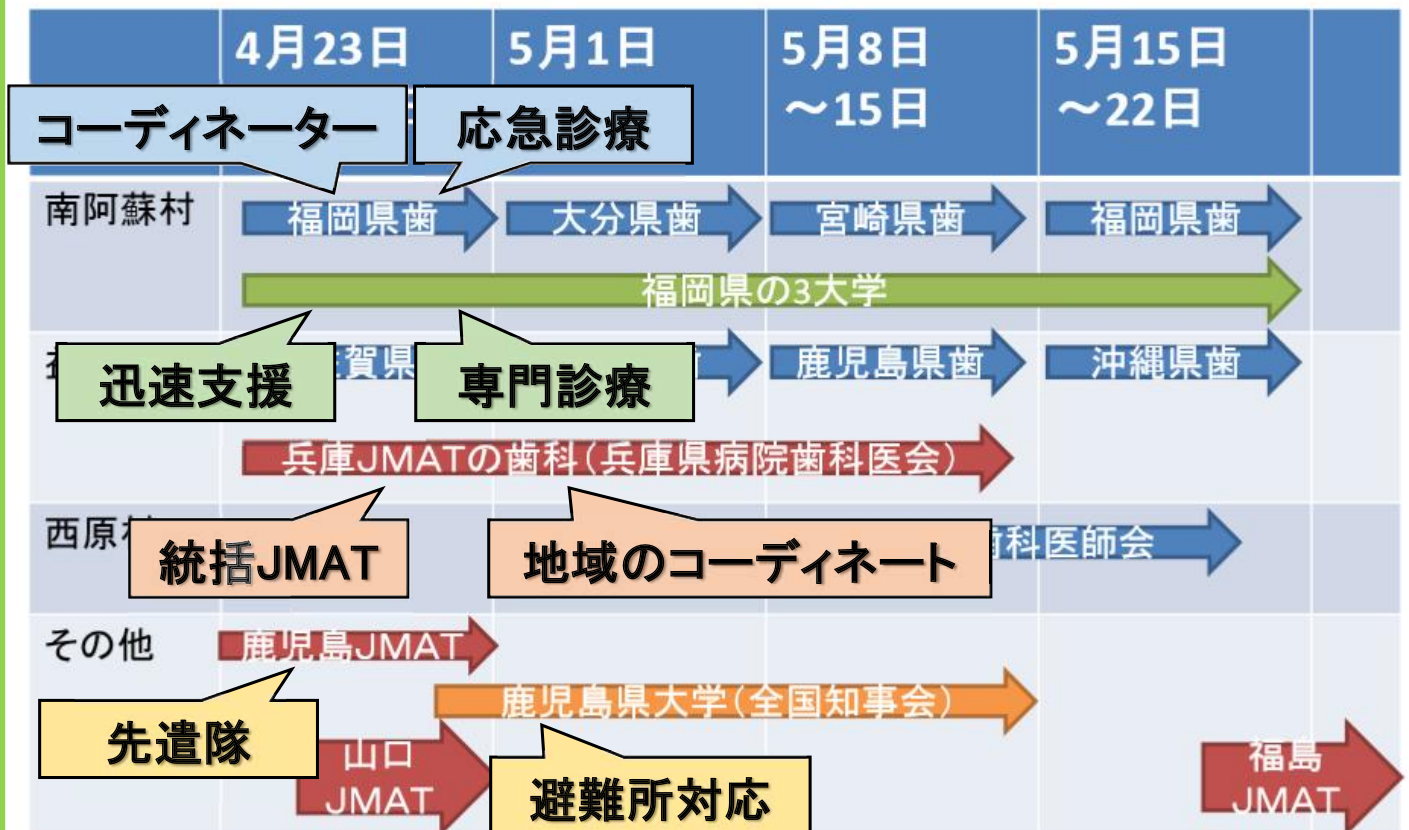


避難所における個別対応



熊本地震・南阿蘇地区

「多組織」＝九地連、県衛、大学、JMAT、知事会



「転」 ～引継～

第三班（本震後22日～29日）

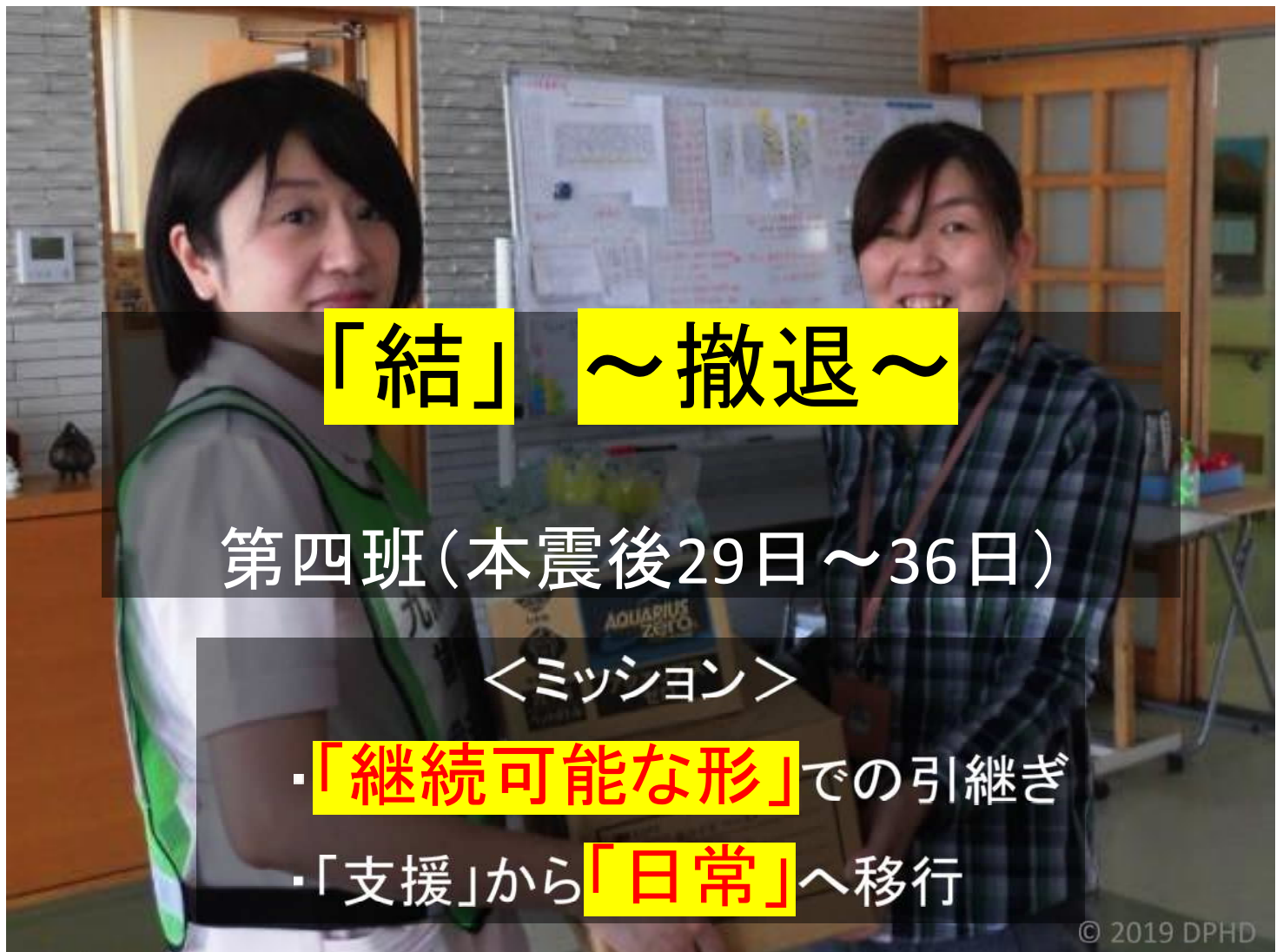
＜ミッション＞

- ・災害慢性期でのリハビリテーション実施
- ・地域医療へバトンを繋ぐ

引き継ぎツールの作成



STとの協働



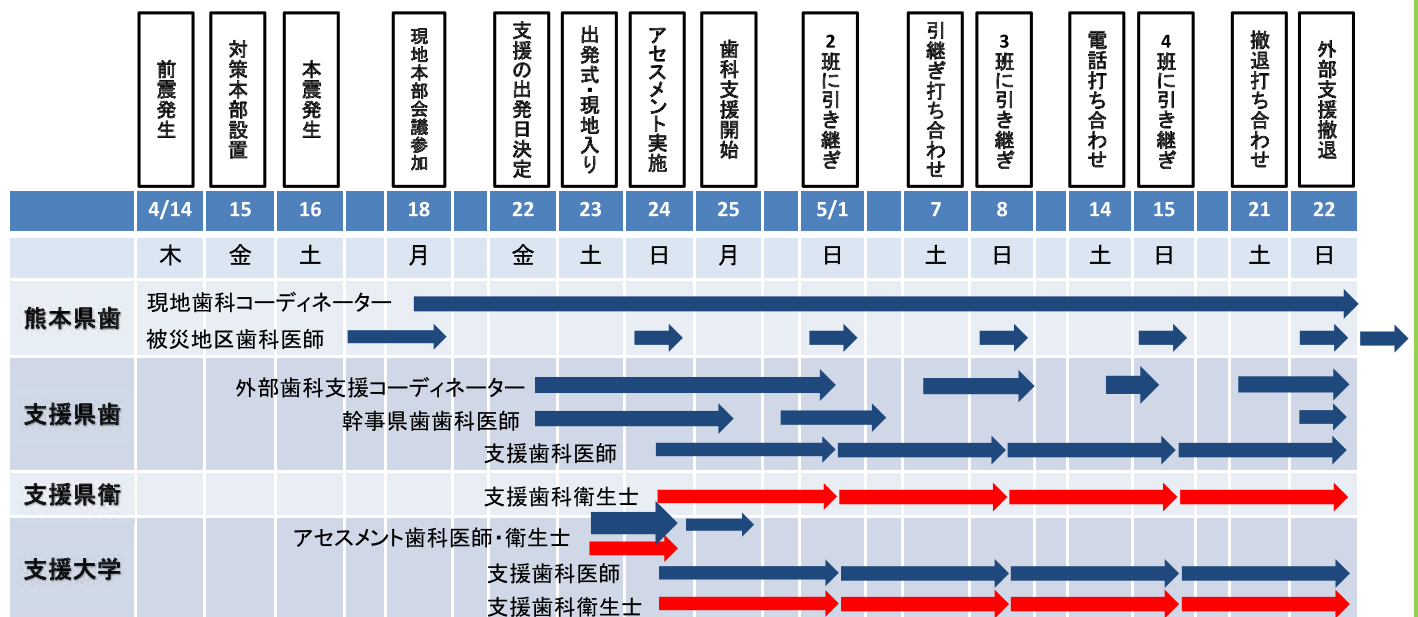
地域における地元への引き継ぎ



© 2022 DPHD

熊本地震・南阿蘇地区

「起承転結」＝南阿蘇地区での一連の活動の全体像



歯科保健医療
支援活動

状況把握

アセスメント・衛生用品配布・ポスター貼布

感染症対策(口腔ケア・歯科治療)

食べる支援(摂食嚥下評価・リハビリ)

歯科保健指導+健口リハビリ体操

共有
連携

南阿蘇村災害対策本部・災害医療対策本部